

しょうりか「花のつくりと実(受粉)」 その2

なまえ _____ がつ にち てん _____ / 20

1 植物にとって、花が咲くことの大切な役わりは？

ア 根をのばすこと イ 水をためること ウ 冬をこすこと エ 受粉して種子を作ること
こたえ _____

2 ヘチマのおばなが、花が終わっても実にならないのはなぜ？

ア がくがないから イ おしべがないから ウ 花びらがないから
エ めしべ(子房)がないから こたえ _____

3 ヘチマの実の先に、かれた花がついているのはなぜ？

ア 葉がかれて花になったから イ 花粉が実になったから ウ 実の中から花が生えたから
エ 花のものの子房が実になったから こたえ _____

4 虫に運ばれる花粉の特ちょうは？

ア 虫の体につきやすい イ 水によく浮かぶ ウ とても軽く 風に飛びやすい
エ 花の外に出ない こたえ _____

5 観察するものをスライドガラスにのせ、カバーガラスをかけたものを何という？

ア ビーカー イ ろ紙 ウ ペトリ皿 エ プレパラート こたえ _____

6 トマトの実についている緑色の「へた」は、もとは花のどの部分？

ア めしべ イ がく ウ 花びら エ おしべ こたえ _____

7 アサガオで受粉の実験をするとき、つぼみのうちに取りのぞくのは？

ア 子房 イ めしべ ウ おしべ エ がく こたえ _____

8 花から実ができるまでの順は？

ア 花が咲く → 実ができる → 受粉 → つぼみ イ 受粉 → つぼみ → 実ができる → 花が咲く
ウ つぼみ → 花が咲く → 受粉 → 実ができる エ 実ができる → 花が咲く → 受粉 → つぼみ
こたえ _____

- 9 ^{じゅぶん} 受粉の ^{じっけん} 実験で、^{ふくろ} つぼみに 袋を ^{かぶ} かけるのは ^{なぜ} なぜ？
^{むし} ア 虫や ^{かぜ} 風で ^{じゅぶん} 受粉しないように ^{ため} するため ^{かぶん} イ 花粉を ^ふ 増やすため ^{いろ} ウ 色を ^つ 付けるため
^{はな} エ 花を ^{あた} 温めるため ^{こたえ} ことえ _____
-
- 10 ^{はる} 春に ^{かぜ} 風で ^{はこ} 運ばれ、^{かぶん} 花粉症の ^{しょう} 原因に ^{げんいん} なる ^{かぶん} ことがある 花粉は？
^{かぶん} ア ヘチマの 花粉 ^{かぶん} イ アサガオの 花粉 ^{かぶん} ウ スギの 花粉 ^{かぶん} エ アブラナの 花粉 ^{こたえ} ことえ _____
-
- 11 ^{ふうばいか} 風媒花の ^{れい} 例は？
^{かぶん} ア アブラナ ^{かぶん} イ ヒマワリ ^{かぶん} ウ イネやトウモロコシ ^{かぶん} エ ヘチマ ^{こたえ} ことえ _____
-
- 12 ^{かぶん} 花粉は ^{おも} 主に ^{なに} 何によって ^{はこ} 運ばれる？
^{あめ} ア 雨だけ ^{こんちゅう} イ 昆虫や ^{かぜ} 風 ^{つき} ウ 月の光 ^{つち} エ 土の中の ^{なか} ミミズ ^{こたえ} ことえ _____
-
- 13 ^{じゅぶん} 受粉の ^{じっけん} 実験で、^{ふくろ} つぼみに 袋を ^{かけ} けるのは ^{いつ} いつ？
^{しゅし} ア 種子が ^{あと} できた ^{はな} 後 ^さ イ 花が ^{まえ} 咲く ^み 前(つぼみ)の ^{あと} うち ^{はな} ウ 実が ^{あと} できた ^{はな} 後 ^{あと} エ 花が ^{あと} かれた ^{あと} 後
^{こたえ} ことえ _____
-
- 14 ^{はな} ヘチマの 花が ^さ 咲くのは、^{きせつ} おもに ^ど どの 季節？
^{ふゆ} ア 冬 ^{なつ} イ 夏 ^{あき} ウ 秋の ^お 終わり ^{はる} エ 春の ^{はじ} 初め ^{こたえ} ことえ _____
-
- 15 ^{かぜ} 風で ^{はこ} 運ばれる ^{はな} 花の ^{かぶん} 花粉が、^{つく} たくさん ^{なぜ} 作られるのは ^{なぜ} なぜ？
^{かぶん} ア 花粉が ^{みず} 水に ^{かぜ} とけやすいから ^{かぜ} イ 風まかせで、^{すく} めしべに ^{すく} とどく ^{すく} ものが ^{すく} 少ないから
^{むし} ウ 虫が ^た たくさん ^{かぶん} 食べるから ^{かぶん} エ 花粉が ^{おも} とても ^{おも} 重いから ^{こたえ} ことえ _____
-
- 16 ^{じゅぶん} 受粉させた ^{くら} めばなと ^{くら} させなかった めばなを ^{くら} 比べるのは ^{なぜ} なぜ？
^せ ア 背の ^{たか} 高さを ^{くら} 比べる ^{じゅぶん} イ 受粉が ^{じつ} 実に ^{ひつよう} 必要か ^{たし} 確かめる ^{ため} ため ^{はな} ウ 花の ^{いろ} 色を ^{くら} 比べる
^は エ 葉の ^{かず} 数を ^{かぞ} 数える ^{こたえ} ことえ _____
-
- 17 ^{じゅぶん} 受粉した ^{あと} 後、^み 実の ^{なか} 中に ^{できる} できる ^{もの} ものは？
^{かぶん} ア 花粉 ^{かぶん} イ がく ^{しゅし} ウ 種子 ^{しゅし} エ やく ^{こたえ} ことえ _____
-
- 18 ^{かぶん} 花粉の ^{かたち} 形や ^{おお} 大きさは、^{はな} 花の ^{しゅるい} 種類によって？
^{かなら} ア 必ず ^{まる} 丸い ^{おな} だけ ^{かたち} イ すべて ^{おな} 同じ ^{ちが} ウ 形は ^{ちが} ない ^{ちが} エ 違う ^{こたえ} ことえ _____

19 実^みの中^{なか}にできた種子^{しゅし}をまくと、どうなる？

ア 花粉^{かふん}になる イ そのまま実^{じつ}になる ウ 発芽^{はつが}して、次の植物^{つぎ しよくぶつ}が育^{そだ}つ エ おしべになる
こたえ _____

20 人工^{じんこう}受粉^{じゅふん}では、何^{なに}を使^{つか}って花粉^{かふん}を付^つける？

ア 筆^{ふで}(ふで)など イ ハサミ ウ 電池^{でんち} エ 磁石^{じしゃく} こたえ _____

こたえ しょうりか「花のつくりと実(受粉)」 その2

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1 エ 受粉して 種子を 作る こと | 12 イ 昆虫や 風 |
| 2 エ めしべ(子房)がないから | 13 イ 花が 咲く 前(つぼみ)の うち |
| 3 エ 花の もとの 子房が 実に なったから | 14 イ 夏 |
| 4 ア 虫の 体につ しやすい | 15 イ 風まかせで、めしべに とどく ものが 少ない |
| 5 エ プレパレート | から |
| 6 イ がく | 16 イ 受粉が 実に 必要か 確かめる ため |
| 7 ウ おしべ | 17 ウ 種子 |
| 8 ウ つぼみ → 花が 咲く → 受粉 → 実が できる | 18 エ 違う |
| 9 ア 虫や 風で 受粉しないように するため | 19 ウ 発芽して、次の 植物が 育つ |
| 10 ウ スギの 花粉 | 20 ア 筆(ふで)など |
| 11 ウ イネや トウモロコシ | |